



アトラス総合事務所
代表/公認会計士/税理士

井上 修 様

税理士

田之畑 龍一 様

森 祐介 様



電子帳簿保存法におけるスキャナ保存制度、在宅ワークによる地方創生。クラウドで広がる会計事務所の未来。

interview by freee

アトラス総合事務所は、税務から労務、法務に至るまで法人・個人事業主の経営を総合的にサポートしています。早くからクラウド会計の可能性に着目し、会計の効率化にとどまらず、事務所の働き方自体の変革にも取り組んでいます。

freee を導入したきっかけは？

井上様：はじめにクラウド会計と聞いたとき、20年くらい前に出ましたが、ぱっとしなかったASPをイメージしました。しかし、実際、自動化の機能などを見て、これはいままでとは違うなと感じました。手間だった預金取引の手入力の自動化など、とにかく革新的だったのです。それと同時に、これに乗り遅れてはいけないという強い危機感を抱きました。クラウド会計により、我々とお客様双方において作業が大幅に軽減され効率化できます。お客様が使えるのにも関わらず我々が使えないのは問題ですし、クラウド会計が使えないと、この業界では生き

残れないのではないかと思います。

チャレンジした分のリターンはある

田之畑様：会計を自動化したいから、経理がやめてしまったから、社長ひとりでは手が回らないからなど、クラウド会計を導入したい理由はさまざまですが、「いまの会計事務所がクラウドに対応していないから替えたので相談に乗ってもらえますか？」という電話をいただくことがよくあります。本来なら、経理の専門家という立場から、自ら主導して新しい仕組みをアナウンスしていくべきかと思えます。しかし、逆にお客様のほうから、コレを使いたいと言われて会計事務所側がお断りしているような状況がまだまだ多いと伺っているのです。それは非常に残念に思います。たしかに、最初に freee の画面をみたときは、使い方はわからないし、仕訳ベースでの入力ではないし、とつきにくいなと感じました。しかし、

freee のヘルプページやチャットを活用したり、ときにはお客様に教えていただくこともありました(笑)、freee の仕組みや使い方がわかると感動すら覚えました。例えばタグの使い方です。従来の補助科目は1つの勘定科目に複数の補助科目があるという構成だったのが、freee では勘定科目を取引先別や品目別など横断的にタグをつけることが可能です。タグを利用することで、従来の補助科目的な使い方はそのままに、従来では出来なかった勘定科目を横断した横串での新たな分析が可能になったのです。今までの補助科目の使い方に慣れていた我々からすると、非常に衝撃を受けた機能でした。

クラウド化の提案を経て、電子帳簿保存法におけるスキャナ保存申請もサポート

森様：遠方に、入力件数の多いお客様がいるのですが、預金やカードの自動取り

込み、学習機能を使って時間を短縮してこうという狙いで freee に切り替えました。それまでは、取引件数が多いために、必然的に紙の書類が増えてしまって、保管場所の確保が問題でした。お客様は、紙で残すのではなく、出来る限り電子化して保存したいと前からおっしゃっていたのですが、今まではスキャナ保存するには、システムを用意する必要があることやタイムスタンプに料金がかかることがネックでなかなか申請できませんでした。しかし、つい最近、スキャナ保存制度の要件が大幅に緩和されたことから、freee のスキャナ保存機能を使うことを前提に、そのお客様のスキャナ保存申請をサポートしました。スキャナ保存していただくと、何よりも膨大にある書類を紙で保管する必要がなくなります。また、遠隔であっても情報のやり取りがスムーズに行えます。申請にあたって、申請書の理解が必要なうえ記入箇所が多く、適正事務処理規程などの添付書類もあり、思いのほか時間がかかりましたが、freee に以前申請した雛形を提供いただくなどのサポートをしていただきました。

井上様：時代の流れで、どんどん紙媒体で保存する必要がなくなっていくのは間違いないと思っています。逆に、データよりも紙のほう紛失などのリスクが高いと思っています。お客様が望まれる方向だと思いますので、どんどん進めていって、管理コストの低減、煩雑さの解消を実現していきたいと思っています。さらに技術が進歩すれば、スキャナからの読み取り機能の精度が向上したり、スキャ

ンした書類の検索がスピードアップする等、さまざまな使い方ができるようになるのではないかと期待しています。

今後の展望——クラウドは会計事務所の働き方自体を大きく変える可能性がある

井上様：計画では、来春頃、地方に支店を出そうと考えています。以前なら遠隔地で仕事をしようとしたら、資料を送っての作業でしたが、いまなら、こちらでスキャンしたものをクラウド上にアップして地方で作業してもらうことが容易です。そのため、すでに試験的ではありますが在宅勤務の方に業務を依頼しています。

田之畑様：いままでは社内のスタッフがしていた仕事を、在宅勤務の方が ScanSnap でデータ化した資料を使って遠隔で行っています。とくにスキャンの部分は、簿記の知識が全くなくてもできる作業なので、スキルにあわせて対応してもらったほうがより効率的です。現在は、スキャンした領収書のデータをファイルボックス機能を利用して、在宅の方に登録してもらっている状況ですが、最終的には、決算まで自宅でするようにしたいと考えています。

井上様：会計業界は人材の確保が難しくなっています。そのため、経験がなくても経理処理ができるような仕組みをクラウドでつくり、主婦の方、子育て中の方、将来的にはだれでも、どこからでもできるようにしたいと考えています。それは



クラウドだからこそ、できることだと思います。地方在住で経験のある方、あるいは全くない方にも働いていただいて、経験がない方であれば最初は単純作業としてスキャンやエクセル入力をやっていただく。仕事の中で、ご自身でスキルアップしていただいで、経験が身についたら、希望ややる気に応じてステップアップできるように新しい働き方ができると考えています。クラウド会計は、会計業界の革命です。使いこなすには労力と時間がかかりますが、生き残っていくにはそこに力を入れていかないと、お客様のほうから「さようなら」と言われてしまうと思うのです。時代に乗り遅れないように、さらに言えば一步先を行くくらいの気持ちでやっていかなければ、会計事務所の未来はないと思います。これからの会計事務所業界の未来に期待しています。



アトラス総合事務所

所在地：東京都渋谷区南平台町2-17
日交渋谷南平台ビル6階
電話：03-3464-9333

クラウド会計、節税など、常にお客様の立場に立ったサービスと明瞭な料金設定で、税務から労務、法務に至るまで法人・個人事業経営を総合サポートしている。